

議会の チェック 機能とは？

基本無き実施設計予算計上

松ぼっくり

宮田きみひと議会報告
〒716-0033
高梁市南町21
0866-22-3416

(平成20年3月議会 修正案提案理由説明の原文 宮田公人)

提案説明に入ります前に、若干、本修正案を提出するに至った経緯・経過につき申し述べさせていただきます。

市立成羽病院の改築につきましては、すでに皆さんもご承知の通り、昨年、3月議会での実施設計にかかる予算の議決を経て、6月の合併特例債の取り下げ以降、たった1度、成羽病院改築調査特別委員会の勉強会が開かれたのみであります。この間、執行部からは、議会・市民に対して何ら具体的な方針・状況説明もないままこの3月議会を迎えました。

そこで、私たちは、当初予算に計上された、実施設計にかかる予算55,741千円を見て驚いたのであります。これは、平成19年度補正予算で減額補正された、昨年度と同様の金額であります。にもかかわらず、本会議では、この予算計上の裏付けについて市長は一切言及なさいませんでした。初めて、今後の基本方針が示されたのは、去る3月17日に開催された成羽病院改築調査特別委員会においてであります。92床の半数46床を一般病床、残りを新型老健施設に転換するというものであります。しかし、これは正に実施設計どころか、基本構想・基本計画の大転換であります。加えて、担当課においても、病院内部においても、具体的な事務的すり合わせさえ為されておられません。全くの、未知数の計画であります。

私たちの一般・社会常識に照らし合わせて、このように、基本構想・基本計画さえ、おぼつかない状況で、果たして実施設計にかかる予算について同意が出来るでしょうか？ しかも、その金額は55,741千円、昨年同様であります。逆に言えば、この金額の積算根拠は全く存在しないわけでありまして。このように、これまでの一連の流れを、考えれば考えるほど基本的な手続き・手順が違ふ。物事の筋が違ふという結論を、導かざるを得ないのであります。若干長くなりましたが、以上のような考え方に沿って、今般、改めて修正案を提出いたします。

(議案内容説明のため中略)

最後に、今回のように、しかるべき手続き・手順を踏まず。また、議会・市民への十分な説明責任も果たさず。我が市にとって大きなプロジェクトをこの様な議会の多数論理の中で進めるという事は、正に、議会の軽視であり、市民を愚弄する行為に等しく、長年成羽町行政を担当なされた秋岡市長の見識を問いたいところでございます。

こうした、政治手法を許すことは、将来の高梁市政に大きな禍根を残すことになると私は考えます。その事を申し上げ、提案理由の説明といたします。

あこがれのマイホームの建設、みなさんならどんな手順で計画を進めて行かれるでしょうか？ 夫婦2人の生活と、3世代同居では必要な家の機能や大きさに大きな隔たりがあるでしょう。もちろん建設費用も大きく変わってくると思います。つまり、どんな生活様式を選択するかということを確認しなければ、どんな家が必要かという具体的な内容など決定できるはずがありません。

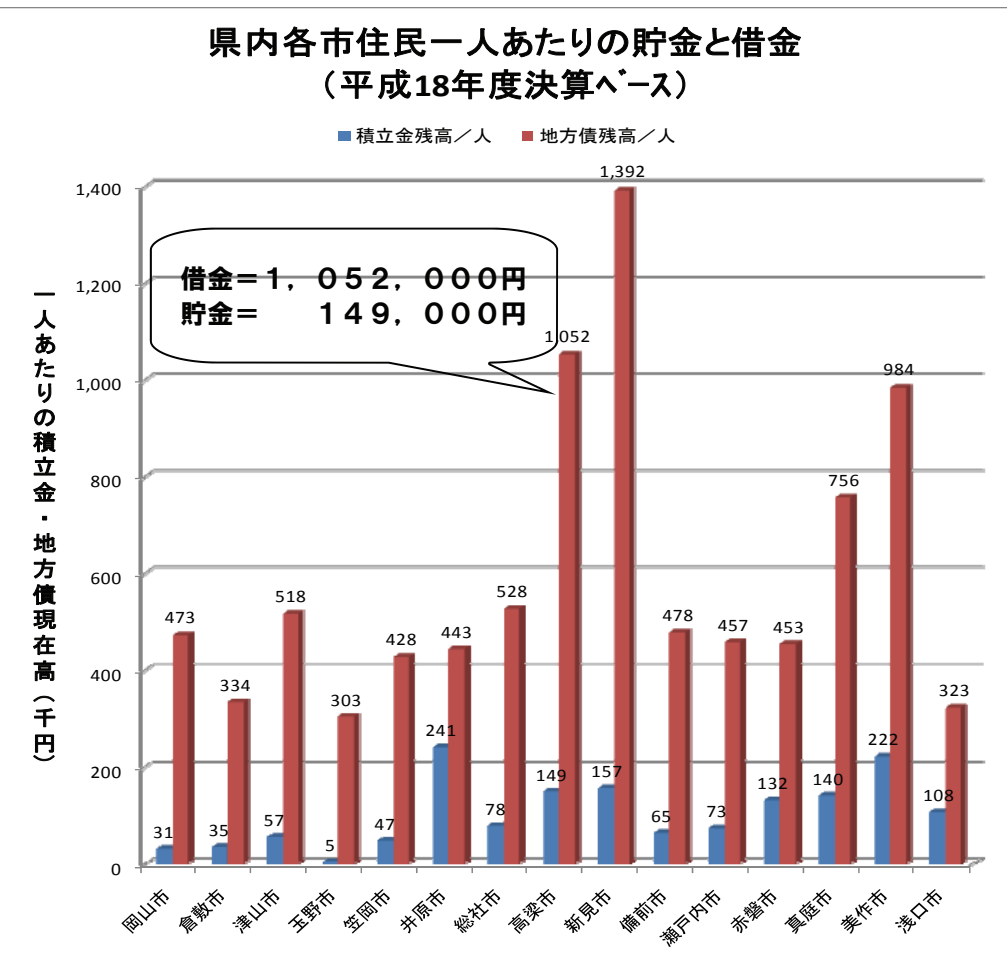
今回、3月議会で議論の的となった成羽病院の改築予算計上の問題を私たちの身近なマイホームの建築に例えて言うならこの様なことです。反対7名、退席2名)

この場合、家族構成や生活様式が基本構想・基本計画に当てはまるでしょうか。しかし、未だ、どういう公立病院を建設することが、私たち市民にとって有益なのかという基本的な考え方は示されていません。正確には考えあぐねているという表現が正しいのかもしれませんが、そういった現状の中で、今議会では55,741千円という改築にかかる実施設計の予算が計上され、賛成多数で可決されました(賛成15名、

この場合、家族構成や生活様式が基本構想・基本計画に当てはまるでしょうか。しかし、未だ、どういう公立病院を建設することが、私たち市民にとって有益なのかという基本的な考え方は示されていません。正確には考えあぐねているという表現が正しいのかもしれませんが、そういった現状の中で、今議会では55,741千円という改築にかかる実施設計の予算が計上され、賛成多数で可決されました(賛成15名、

平成18年度決算ベースで見ると
借金=1,052,000円
貯金=149,000円

市民一人当たりの借金と貯金



間負担と持続可能性の問題についても、高梁市の厳しい財政状況を勘案するならば、十分に検討を加えておかななくてはなりません。この様に考えるとき、今、大切なのは、ただ単に55,741千円の実設計予算を通すことではなく、執行部も議会も市民も、こそって真剣に公立病院の将来像について語り合う事だと私は考えました。同時に皆様のお支えをいただいで議席を与えていただいでいる以上、一般社会常識に照らし合わせて疑義を持たざるを得ない議案に対して、安易に賛成の手を挙げるわけには行かないという考えに立ち、今議会では病院の改築にかかる実施設計予算、55,741千円のみを減額修正した議案を議員発議で提出いたしました。

今回の議会行動については、市民の皆様から様々なご意見をお寄せいただいでいるところがございます。が、先のような考えに従って議員としての信念に基づき、判断・行動している事をご理解いただきたいと思っております。公立病院の現状を考えると、市民の健康を守るという地域住民への貢献。反面、様々な課題も当病院が抱えていることも客観的な事実だと思っております。その事について単に批判したり揶揄することは、お互いにとって簡単な事です。しかし公立病院はあくまで私たち市民の病院だということをお忘れではありません。未来に向けたその有り様を、ここで一度立ち止まり、お互いの目線で考えておくことが大切です。そうする事により、私たち市民の望む病院の姿が、おぼろげなりとも見えてくるのではないのでしょうか？ そうした前向きな考え方に立ち、皆さんと共にこの問題に取り組んで参りたいと思

宮田公人